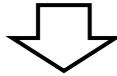


令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立福山商業高等学校	対象となる主な学年	全学年
取組事例名	「体育祭」		

◆ 生徒の実態及び取組を通して育てたい生徒像

生徒の実態	取組を通して育てたい生徒像
自己肯定感が低く、学習意欲や新しいことへの挑戦する姿勢が乏しい傾向にある。また、人と協力して一つのことを達成することにも積極的ではない。 しかし、目標設定と目標達成手順が明確になれば、積極的に取り組むことができる。	【自律】自分の意見や考えをもとにして、物事を判断し、行動することができる。 【挑戦】目標に向かって現状や自己を把握し、主体的に行動できる。 【貢献】自分の役割を認識し、他者の意見や考えを受け入れ、協働的に行動することができる。



◆ 取組の具体的内容

取組を実施する意図及びねらい
集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の醸成、体力の向上などに資する。
取組の流れ・創意工夫・生徒の変容等
<p>○取組の流れ</p> <p>7月上旬 ～ 生徒会執行部による体育祭競技種目についての希望調査等の実施</p> <p>8月下旬 ～ 競技種目の決定、実施内容の確認、役割分担確認</p> <p>9月上旬 ～ 生徒体育祭実行委員によるクラスメンバーの決定</p> <p>9月中旬 ～ 各クラスリーダーから学年団長・副団長の選出生徒の役割分担の割り振り・確認</p> <p>10月上旬 ～ 各クラスでの種目練習</p> <p>10月下旬 リハーサル、生徒運営の確認</p> <p>10月30日 体育祭本番</p> <p>11月 体育祭の反省と課題を整理</p> <p>○創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な練習はクラス単位の授業で行うため、種目の選手以外もほとんどすべての種目を練習した。 ・各種目出場者で目標設定の作戦会議を行った。また、担当教員・クラス担任からも目標達成に向けた助言を行い体育祭当日に向けて取り組みを進めた。 ・LHRの時間を使い学年合同の練習も行った。 ・運営（招集、出発、用具、放送など）においては、リハーサル時に役割と手順を明確に示し、責任をもって当日の運営に当たった。 <p>○生徒の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標と手順が明確だったので、順位ではなく自分たちの目標にこだわり、最後まで一生懸命取り組む姿勢が見えた。 ・運営（招集、出発、用具、放送など）において、リハーサル時の反省や課題を活かし、当日は非常にスムーズに体育祭を進めることができた。

◆ 成果（○）と課題及び今後に向けて（●）

○順位ではなく目標達成にこだわり一生懸命取り組めた。ほとんどの生徒が、リハーサルから本番の体育祭で筋肉痛になったと言ってくるほど、今持てる力を発揮した。
○運営もほぼ予定時間通りに進行でき、各役割の生徒が自分の責任を果たし、カバーした。
●自分達だけが目立ちたい、楽しみたいという生徒も若干見られ、特に準備・片付けは一部の生徒への負担が大きくなった。【貢献】の意識の醸成が必要。
●体育祭だけの学校行事の満足度を図るアンケートを実施していないため数値化できなかった。